

八戸市総合計画策定委員会 第3回専門部会「自治体経営戦略部会」 議事概要

日 時：平成27年4月30日（木） 13：50～15：20

場 所：八戸グランドホテル2階 翔鶴の間

出席委員：6名

藤田委員（部会長）、田頭委員（副部会長）、中川原委員、西川委員、橋本委員、平山委員

事務局：

政策推進課（西村主幹・成田主査）、市民連携推進課（安原副参事・小幡主幹）、行政改革推進課（佐々木副参事）、人事課（工藤主幹）、財政課（上館主幹）、中核市推進室（三浦副室長）、広報統計課（相模主査）、都市政策課（畠山参事）、運輸管理課（下田主査）

(株)ケー・シー・エス 東北支社 霜鳥

次 第：

1 開会

2 部会長あいさつ

3 審議案件

審議1. 第5章戦略プロジェクト（計画4次案）について

4 その他

5 閉会

審議案件に関する主な意見：

戦略5 自治体経営戦略

【戦略全体について】

- ・展開するプロジェクトの3本柱については、委員全員了解。特に意見なし。

1. 協働のまちづくりプロジェクト

【プロジェクト全体や名称について】

- ・特に意見なし。

【現況と課題について】

- ・特に意見なし。

【プロジェクト指標について】

- ・特に意見なし。

【展開する施策について】

■施策1：協働の仕組みづくりの推進

- ・八戸市にとって、防災は課題。町内会で防災への取組を真剣に考えている。例えば、多賀地区、白銀地区、鮫地区などは、高台が遠いため、25分～30分で避難できるように、避難経路を整備しても、本当に避難してもらえるかどうか分からない。避難訓練等の活動を徹底するしかない。
- ・海岸線からどうやって高齢者を避難させるかが課題。海岸線から高台へ向かう階段は高齢者には大変で、非難を手助けする人たちが欠かせない。町内会で要援護者を登録しても、非難を手助けでき

る若い世代が町内に何人いるか把握できていないため、現実には何か起こった時には、円滑に非難できるかどうか不安を感じている。

■施策2：町内会等の活性化

- ・38連合町内会に、平成28年から1世帯あたり100円の防災費用の交付金が予定されており、非常に有り難い。チラシを配布するにも経費があるので、行政が負担してくれることに感謝している。
- ・今年は、町内会等振興交付金がプラス（通学路の除雪も入ってきた）になって感謝している。
- ・減災・防災に関しての共助のしくみづくりのために、コミュニティが重要。その最も代表的なものである町内会を前面に出す表現はないか。町内会の活動の中味をどう表現するかが課題である。
- ・自主防災組織育成事業等は、町内会が重要な役割を担っているのであれば、ここで再掲しても良いのではないか。
- ・防災に関してはいくつかの分野にまたがっているので、ここで取り上げるかどうか判断が分かれる。
- ・ボランティア活動支援事業の対象となるのは何か。
- ・社会福祉協議会の純正ボランティアに対し、ボランティア活動保険料の2分の1の額を助成している。
- ・社会福祉協議会等の純正ボランティアの方に、少なくとも交通費の支給は必要なのではないか。

2. 行財政改革プロジェクト

【プロジェクト全体や名称について】

- ・特に意見なし。

【現況と課題について】

- ・特に意見なし。

【プロジェクト指標について】

- ・特に意見なし。

【展開する施策について】

■施策1：意識改革と組織体制強化

- ・企業は既に取り組んでいる。多面的に見ることが必要。ひとつの課題は、ひとつの課だけでは解決しない。継続することが大事。

■施策2：業務改善によるサービス向上

- ・特に意見なし。

■施策3：持続可能な財政運営と財産（資産）の適正管理

- ・有料広告事業として、ラッピングバスをやれないか。
- ・広告内容にもよると思うが検討したい。

3. 広域拠点・連携プロジェクト

【プロジェクト全体や名称について】

- ・特に意見なし。

【現況と課題について】

- ・特に意見なし。

【プロジェクト指標について】

- ・特に意見なし。

【展開する施策について】

■施策1：拠点機能の強化

【③シティプロモーションの推進】

- ・八戸特派大使の名刺にQRコードをつけて、観光PRの動画に繋がるようにしてはどうか。名刺の裏には、八戸市の宣伝も掲載した方が良いと思う。
- ・いかずきんズをもっと活用するため、歌や踊りがあった方が良いのではないか。せんべい汁やいかの街八戸の歌があったと思うので、いかずきんズも検討して欲しい。
- ・いかずきんズの本体は、ウミネコだということが伝わっていないのではないか。
- ・初めて蕪島に来た人は、皆、ウミネコの数に驚くので、ウミネコをもっとPRした方が良いと思う。八戸の特長を発信した方が良いと思う。
- ・八戸で暮らした学生が、全国に散らばって八戸のことを話してもらうことも情報発信になる。八戸の良さを伝えてもらうことも、長い目でみると効果がある。

■施策2：交通ネットワークの充実

- ・既存市街地から商店がなくなり、郊外の大規模店に行くしかない状況になり、買い物難民が増えている。交通ネットワークは、市民生活に欠かせない。今後は、高齢者の増加に伴い、交通ネットワークの充実は、さらに必要となる。
- ・下長方面から市民病院に行くには、タクシーはお金がかかりすぎるため、バスが使えると便利である。バスの運行は行政に期待している。
- ・バス運行は、トータルサービスとコストダウンを考える必要がある。
- ・福祉バスの考え方ではコスト増になるので、受益者負担の考え方が基本である。

■施策3：広域連携の推進

- ・特に意見なし。

【その他意見】

- ・特に意見なし。

【第3回結果概要】

- ・防災・減災を推進する上で、町内会が担う役割は重要なので、展開する施策に明記した方が良い。
- ・グループ単位での業務改善の推進は、継続することが大事。
- ・シティプロモーションは、八戸の良さ・特徴を伝えることが基本。様々な手段を用いて、情報発信を工夫していく必要がある。
- ・今後は、高齢者の増加に伴い、交通ネットワークの充実が求められるが、バス運行は、トータルサービスとコストダウンを考える必要がある。
- ・福祉バスの考え方ではコスト増になるので、受益者負担の考え方が基本。